

令和5年度 嬉野市教育委員会 活動状況評価シート

教育委員会の活動状況

具体的活動	教育委員会における自己評価				
	評価	項目	項目ごと実績・成果・評価	課題・問題点 改善点	
(1)教育長としての役割等について	B	<ul style="list-style-type: none"> 総合教育会議について、市長部局へ開催を依頼する。また、市長と教育長・教育委員との意見交換の場を設定し、意見交換を行う。 本市教育推進のため、教育政策等を立案し実践化する。 市長に対し、教育行政の課題等について情報提供を行う。 教育委員へ教育行政施策の積極的提言と周知の徹底を行う。 大野原小中学校の「通学・留学」制度については、質の高い教育実践校であることを県外の市町に広報する。特に大村市教育委員会との意見交換会でPRを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 総合教育会議については、市長部局に開催依頼を行ったが、開催には至っていない。 前回作成された「嬉野市教育大綱」に従って、本市の実情に合った教育計画を推進中である。 市長に対して、「学力の現状と教育課題」について随時情報を提供している。 教育委員へ教育情報の提供を積極的に行っている。 大野原小中学校のPRについては8月に開催された大村市教育委員会との意見交換会で行うことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育基盤を強化するため毎年作成する「嬉野市の教育」の冊子を教育委員会と市長部局で共有する必要がある。 大野原小中学校の留学において、移住、定住及び通学手段の軽減を関係部局と連携を取り支援していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎年作成する「嬉野市の教育」についての内容を市長部局と共有して作成する。 大野原小中学校の留学については、引き続き関係部局との調整を図る。
(2)教育委員としての役割について	B	<ul style="list-style-type: none"> 教育大綱作成について、教育委員としての立場で意見を述べる。 市長と教育長・教育委員との意見交換の場を設定し、意見交換を行う。 教育行政施策全般についての問題点や課題を指摘し、自己の考え方や意見・思いを述べると共に、教育行政全般についてチェックを行う。 研修会等を通じ、教育課題について把握し、委員としての専門性を習熟し、資質と能力の向上に努める。 教育委員と社会教育委員との合同懇談会を実施して、それぞれの立場からの意見を交わすことにより生涯学習の在り方や方向性について協議し教育行政全般についての方向性を確立する。 	<ul style="list-style-type: none"> 前回作成された「嬉野市教育大綱」に従って、教育委員としての立場で活動している。 定例教育委員会議等で、提案される施策について、教育委員個人の考えや思いを述べる事が出来ている。 新型コロナウイルス感染症は5類に移行したものの、感染者数が増減を繰り返す中、インフルエンザの免疫低下による季節外れの流行などもあり社会教育委員との合同懇談会は開催することができなかった。 教育委員研修会等に参加することにより教育課題を把握し委員としての資質と能力の向上に努めることができた。 大村市教育委員会との意見交換会でお互いが抱える課題・問題点について情報交換を行うことにより見識を深めることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 総合教育会議の中で、教育委員として積極的に意見を述べる事が課題である。 社会教育委員との定例的な意見交換の場を設定して、双方向からの情報の共有が課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> 総合教育会議の実践化に向け、市長部局との連携に取り組む。 担当課との連携、調整を密にして、合同懇談会の早期実施により双方の情報の共有を図る。
(3)定例教育委員会会議の公開性の拡大と充実	C	<ul style="list-style-type: none"> 定例教育委員会への傍聴を、コロナの5類感染症移行後の状況を注視しながら次のように拡大し、リモートでの傍聴については研究してみる。 <ul style="list-style-type: none"> ①社会教育委員の傍聴 ②市役所職員(新規採用職員を含む。)の傍聴 ③教職員(主幹・指導教諭)の傍聴 教育委員会終了後に傍聴者から感想及び教育課題についての意見を求め、必要により意見交換をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症は5類に移行したものの、感染者数は増減を繰り返す中、インフルエンザの免疫低下による季節外れの流行などもあり実施できなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 会議録のホームページ掲載は遅れている。できるだけ早く公開できるようにしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 広報・広聴課の会議録作成ソフト等を活用し会議録作成を迅速に行う。また掲載内容の簡略化を検討したい。 社会教育委員の傍聴については、合同懇談会と同様に早期に取り組む。
(4)教育委員への迅速な教育情報の提供や会議の招集	B	<ul style="list-style-type: none"> 教育委員に学校教育・社会教育並びに教育総務に関する情報を年間を通して迅速に提供する。 教育委員会会議を定例的に開催し、市役所以外の公共施設等でも開催する。 オンライン(ICT)を活用した会議開催の検討を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> 会議については定期的に開催し、予算や補正予算の情報、議会での一般質問事項の説明を行った。 また、社会教育分野においても事業計画を策定し、その都度情報の提供を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育委員が適切な意思決定ができるよう教育委員会が取り組んでいる課題に関する情報を国、県の動向も含めて優先的に提供することが必要。 オンライン(ICT)の活用が進んでいない。 	<ul style="list-style-type: none"> 緊急案件については、持ち回りや電話等で事前承認を得るなど情報提供の迅速化に努めた。 市の情報部局の助言を得ながら、リモート会議の開催について検討を進める。
(5)教育委員会と学校の協働意識高揚と課題の共有化	B	<ul style="list-style-type: none"> 「教育委員と教職員と語る会(トーク会)」で教職員との意見交換を実施し、教育現場の声を反映した教育行政の推進を図る。 「教育委員と教職員と語る会(トーク会)」のより一層の充実を図るため、教育委員も、コロナ感染防止に留意しながらトーク会のグループ(班)に参加し意見を述べる。 校長先生の知恵袋事業のプレゼンテーションへの参加や、成果発表会に出席し、学校の自立的経営について意見を述べる。 学校訪問時の「教育委員と教職員と語る会(トーク会)」で、市長部局の職員等の出席を求め、教育現場の声やトーク会出席者の意見を市の行政に反映させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育委員の学校訪問は、今年度についても感染防止対策を講じながら実施することが出来た。 校長先生の知恵袋事業のプレゼンテーションに参加し、校長の特色ある学校経営について理解を深めた。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育委員が学校現場の状況を正確に把握し、適切な指導や支援を行うためにも学校現場の情報を適切に伝える体制の構築が課題である。 校長先生の知恵袋事業は特色ある事業であり、限られた予算の中での特色のある学校経営の充実が求められる。 	<ul style="list-style-type: none"> 市の情報部局の助言を得ながら、リモート会議の開催について検討を進める。 議題によっては他の部署から協力を得られるように調整を図る。 今後も継続しながら更なる予算の獲得に努める。

<p>評価委員からの指摘事項・意見</p> <p>○教育委員会内での迅速かつ計画的な情報共有、委員の意見等を適切に踏まえた施策の立案及び実施、県境で隣接する大村市教育委員会との交流や大野原高原学園での教育をはじめとする特色ある取組など、教育委員会が有機的、組織的に機能することで成果を上げることができている。</p> <p>このような取組実績に加え、</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合教育会議開催について首長部局への継続的な働きかけ 社会教育委員との定期的な意見交換 会議録の一定程度の簡素化による迅速な情報公開及び事務局員の負担軽減 必要に応じた「教育委員と教職員と語る会」の開催 学校とのリモート会議実施による学校、教育委員会、事務局の物理的負担の軽減 <p>を図ることで、新たに生み出されることが期待される、</p> <ul style="list-style-type: none"> 財源 情報 時間 <p>を活かすことで、更なる充実した、そして特色ある教育委員会の活動が行えるものとする。</p>	<p>評価結果(4段階)</p> <p style="text-align: center;">A</p>	<p>指摘を受けての改善点</p> <p>【総合教育会議開催について首長部局への継続的な働きかけ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合教育会議については市長部局が開催計画をするところであるので、その実施についてはお願いしていく。市長へ教育課題等について情報提供を行い、毎年作成する「嬉野市の教育」についての内容を市長部局と共有しながら、市長と教育長・教育委員との意見交換の場を設定して意見交換をして参りたい。 <p>【社会教育委員との定期的な意見交換】</p> <ul style="list-style-type: none"> 担当課との連携を密にし社会教育委員との合同懇談会を早期実施することにより、双方の情報共有に努めたい。 <p>【会議録の一定程度の簡素化による迅速な情報公開及び事務局員の負担軽減】</p> <ul style="list-style-type: none"> 議事録の簡素化については他市町の議事録などを参考にしながら簡素化に取り組み、迅速な情報公開に努め、負担軽減を行うことで「職員の働きやすさ」を向上させたい。 <p>【必要に応じた「教育委員と教職員と語る会」の開催】【学校とのリモート会議実施による学校、教育委員会、事務局の物理的負担の軽減】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市の情報部局の助言を得ながらリモートでの「教育委員と教職員と語る会」などの会議の開催を検討し、教育委員の適切な指導・支援を行うための学校現場の情報提供に努めたい。 	<p>評価4段階</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>達成(80%以上)</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>ほぼ達成(51~79%)</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>やや不十分(50~21%)</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>不十分(20%以下)</td> </tr> </table>	A	達成(80%以上)	B	ほぼ達成(51~79%)	C	やや不十分(50~21%)	D	不十分(20%以下)
	A	達成(80%以上)									
	B	ほぼ達成(51~79%)									
	C	やや不十分(50~21%)									
D	不十分(20%以下)										